

金融取引税 (FTT) に関する市民社会グループの国際電話会合

国連開発資金会議 (Ffd) プロセスについて

2015年2月25日

議事録: Sarah Anderson (Institute for Policy Studies: IPS)

参加者: 以下の団体からの参加を含む、30名以上: Gestos; Medical Mission Sisters; Young Volunteers for the Environment (YVE-The Gambia); Eurodad; Society for International Development (SID); Stamp Out Poverty; CIDSE; TUAC; NGO Committee on Financing for Development; Institute for Policy Studies; Open Society Foundations; Coalition Plus, Sisters of Charity Fe.; International Disability and Development Consortium; 11.11.11; Global Fund Advocacy Network; Global Poverty Project; Jubilee USA; AWID; Oxfam; AFL-CIO

議長: David Hillman, Stamp Out Poverty (ロンドン)

●国連開発資金会議 (Ffd) のプロセスで FTT を推進する機会について (by Jean Saldanha, CIDSE)

※第三回 Ffd 会議は 2015 年 7 月 13-16 日、エチオピアのアディス・アベバで開催

1. 成果文書

これはドーハ宣言【訳注参照】と同様に、革新的資金調達に関する文言を盛り込むことができるものだ。しかしこれまでのところ、革新的資金調達については民間資金に言及されるのが常であり、必ずしも FTT (金融取引税) を含めてはいない。FTT に触れている 1 月 21 日に発行された「[検討項目 \(Elements\) 文書](#)」の vi ページ (「国際的な公的資金」という項目の記述) では、「金融取引税に関するオプションを模索する」ことが各国に奨励されている。

2. ニューヨークでの Ffd に関するヒアリング

市民社会からのヒアリングは 4 月 9 日に開催予定で、その前日には民間セクターからのヒアリングも行われる。その意図は、成果文書の形式に基づいて草案に意見を反映させるためにヒアリングを開催することである。このプロセスに関するさらなる詳細は間もなく明らかになる。

3. Ffd 成果文書第二次草案討議セッション

4 月 13-17 日に開催。いくつかの主要政府と話す機会となる。G8 を超え G77 を含めるべきだろう。

4. 開発のための革新的資金調達に関するリーディング・グループ

チリは現在リーディング・グループの議長で、FTT に関して有益な存在になりうる。二つの重要なイベントが予定されており、一つは国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会 (ECLAC) の地域セミナー (3 月 12-13 日、於サンティアゴ) における革新的資金調達に関する課題別セッションだ。リーディング・グループはまた、アディスでハイレベル・サイドイベントも開催する予定だ。

5. 国連が主催するその他の地域的コンサルテーション:

3 月 23-24 日@ヨーロッパ、3 月末@アフリカ (2 週間にわたるアフリカ連合閣僚会合と関連して)、4 月@アジア太平洋。

これらのコンサルテーションは、ODA や PPTs 以上の取り組みが必要だというメッセージを送り各国政府の態度を変化させる機会として、FTT に関するアドボカシー活動の出発点になる (この問題に関して各国がどのような立場にあるのかを示したマッピングが有益となるだろう)。しかし、これらコンサルテーションの開催方法や議題設定の仕方はそれぞれに異なっている。市民社会のコンサルテーションの機会を持てるか、サイドイベントを組織できるかについては、いくつか問題が残されている。EU 側では CSO (市民社会団体) の参加を求めてきており、そのプログラムが Web サイトに掲載されコンサルテーションが開始されている。アフリカ財務相会合期間中に地域的コンサルテーションをもてるかについては、問題が残されているが、その機会を閣僚会合の前に設定する予定だ。アジア太平洋においては、CSOs がすでに委員会へコンタクトをとっている。

6. アディス・アベバにおける市民社会フォーラム：

本フォーラムはアディスで開催される予定（FfD 会議前の見込み）で、その目的の一つは、アディスでの成果文書で革新的資金調達に言及されなかったとしても、アディス後を考えてこの問題を提示することにある。このフォーラムを、FTT に関する対話に参加していない各国を招待するか、あるいは開かれた議論のための機会にできるだろうとの意見が出された。

●2015 年 12 月開催のパリ気候サミットに向けて

・パリ気候サミットのホスト国として、フランスは気候問題と関連して FTT に焦点を当てる方法を模索するだろう。

・気候資金源としての FTT を推進するための重要な会合は、6 月 1-3 日、ドイツのボンで開催される気候資金に関する調整会議になるだろう。

・いくつかの政府は、アディスに会議で FTT の税収の一部を開発と気候に割り当てるという公約を発表したいと考えているかもしれない——とりわけ、もしアディスで他にこれといった主要な発表がなかった場合に。

●全体としてのメッセージ：

・連帯税に焦点をあてることから、古い、あるいはエキゾチックな金融市場をベースとする手段に焦点をあてることに置き換えるために、革新的資金の定義を変更しようとするのを食い止める必要性。

・持続可能な開発目標（SDGs）の目標 17 項（「持続可能な開発のための実施手段を強化しグローバル・パートナーシップを活性化する」）を達成するために、FTT がいかに重要かを強調する必要性。（一方、FfD と SDGs のプロセスを過度に密接に位置付けることのリスクも提起された。たとえば、ポスト 2015 との関連づけはモンテレー/ドーハの地域枠組み【訳注参照】における変更の正当化に利用された）。

●今後のアクション：

・各国政府に対するアドボカシーに活用できるような、世界のリーダー達に向けた署名付きレターを作成する。

・請願：グローバル貧困プロジェクト（Global Poverty Project）は、FTT の税収を開発へ充てる約束を EU11 カ国に求める請願を開始した。彼らは他の団体との連携を望んでいる。

・アディス市民社会フォーラムが実現可能となった際には、その詳細を回覧する。

次回 FTT/FfD 会合：3 月 31 日

【訳注】開発資金国際会議に関するモンテレー・コンセンサスやドーハ宣言について

以下、国際連合広報センターWeb サイト「[政府開発援助](#)」より抜粋：

「開発資金国際会議は、2002 年にメキシコのモンテレーで開かれた。開発資金や開発の問題に関するこの国連主催の会議には、50 人の国家元首もしくは政府首脳、200 人以上の閣僚、それに民間部門、市民社会、主要な政府間金融、貿易、経済、通貨機関のリーダーが参加した。

会議は、政府、市民社会、ビジネス界、グローバルな経済問題に関する機関のステークホルダーの 4 者による最初の意見交換の場であった。会議の討論は 12 の個別のラウンドテーブルに分かれ、800 人以上が参加した。政府首脳、世界銀行総裁、国際通貨基金専務理事、世界貿易機関事務局長、地域開発銀行総裁、それに財務相や貿易相、外相などが共同議長を勤めた。会議の成果は、「モンテレー・コンセンサス」として知られ、開発資金に対する新しいグローバルなアプローチを提供した。

ついで、国連総会は、2003 年から始まる奇数年に会議のフォローアップを行うことに決定した。会議の結果の実施や国際通貨、金融、貿易機関による開発支援の一貫性について、政策討論を行う。

開発資金国際会議フォローアップ会合が 2008 年にカタールのドーハで開かれ、「ドーハ宣言」が採択された。2010 年 3 月、総会は開発資金に関する第 4 回ハイレベル対話を開催した。9 月に、総会は、「モンテレー・コンセンサス」と「ドーハ宣言」を再確認し、ミレニアム開発目標 (MDGs) 達成のためのコミットメントを履行するよう開発先進国に訴えた。」

以上
(翻訳 : K.Tsuda)